



プラネタリウムからの挑戦状



全問正解できるかな？

第1問

今年（2021年）8月13日、〇〇流星群が極大（きょくだい）を迎えます。〇に入る言葉は何？

※極大…最も多くの流星を見られる時

- ① しし座
- ② オリオン座
- ③ ペルセウス座

第2問

今年（2021年）8月14日は旧暦（きゅうれき）で何の日？

ヒント：



第3問

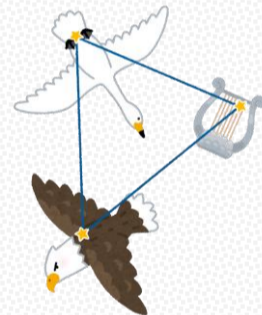
夏の代表星座で作る「夏の大三角」を通るように天の川が流れています。天の川はいつ見ることができる？

- ① 7月7日だけ
- ② 夏だけ
- ③ 一年中

第4問

夏の大三角を作る3つの星の中で、「夏の夜空の女王」や「真夏の女王」とも呼ばれている星はどれ？

- ① ベガ（こと座）
- ② アルタイル（わし座）
- ③ デネブ（はくちょう座）

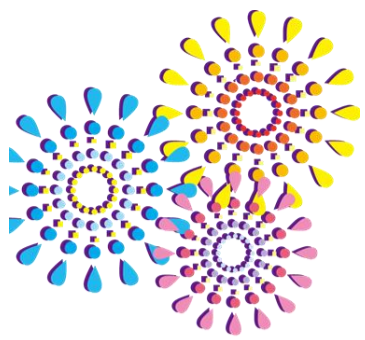


第5問

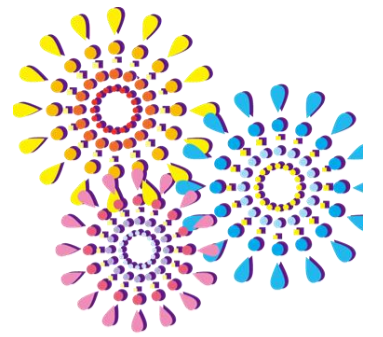
「金星」は今年（2021年）12月下旬頃まで、夕方西の空で明るく輝いています。金星について当てはまるものはどれ？

- ① 英語で「Venus（ビーナス）」と呼ばれている。
- ② 地球とほぼ同じ大きさ。
- ③ 大気のほとんどが二酸化炭素。





プラネタリウムからの挑戦状 答え合わせ



何問正解できたかな？

第1問

答：③ ペルセウス座

8月12日の夜～13日の夜明けにかけてペルセウス座流星群を見ることができます。極大は13日の午前4時頃です。

今年は月明かりがないため、空の暗いところで、1時間に40～50個ほどの流れ星を見ることができるかもしれません。

第2問

答：伝統的七夕の日

七夕はもともと旧暦の行事です。今年は8月14日が旧暦の7月7日に当たります。

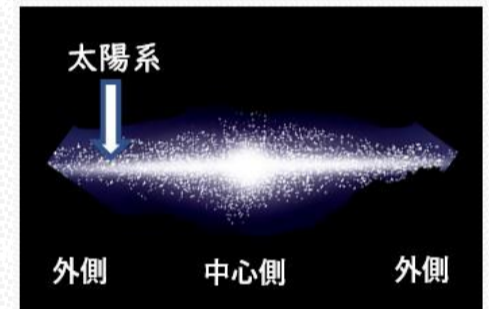
※今の暦（こよみ・カレンダー）の七夕は梅雨時で星が見えづらいため国立天文台が伝統的七夕を広く知らせています。

※伝統的七夕の日は毎年変わります。

第3問

答：③ 一年中

見える時間と方角、天の川の濃さは変わりますが、1年中見られます。夏の時期は濃くて、太い、天の川を見ることができます。天の川は、地球がある天の川銀河を内側から見た姿です。天の川銀河にはたくさんの星が集まっていて、地球から中心方向を見たのが夏の天の川、外側を見たのが冬の天の川です。街明かりがない、空気がきれいなところで観察してみてください。



※天の川銀河を横から見たイメージ

第4問

答：① ベガ（こと座）

こと座の1等星「ベガ」は、夏の大三角の中で一番明るい星です。白色の高温の星で、明るさは0等と1等星より2.5倍明るく、夜空で簡単に見つけることができます。

第5問

答：①・②・③（全て）

地球からは、太陽、月の次に明るく見える天体です。とても明るく美しく見えることから、ローマ神話に登場する美の女神「Venus（ビーナス）」と呼ばれています。金星は地球のすぐ内側を回る太陽系第2惑星です。大気のほとんどが二酸化炭素で、硫酸の雲もあって、温室効果により太陽の熱を逃がすことができないため、温度は約460℃と高温です。金星は、大きさ、重さは地球とほぼ同じ位ですが、生き物が生きていける環境ではありません。

